

とちかち「食の拠点」確立プロジェクト

【推進エリア】十勝連携地域

目的

生産基盤の強化による安全・安心な食料生産・供給拠点の形成を図り、我が国における食料供給地域としての地位をさらに揺るぎないものにするとともに、農商工連携による十勝の「食」の付加価値向上や海外輸出も含めた販路の拡大を進め、強いブランド力を持った食産業を構築していく。

これまでの主な取組・成果

■ 十勝産品の知名度向上やブランド化に向けたフェアの開催 [関係機関、民間、振興局]

北海道十勝グルメフェアin羽田空港

開催日：令和4年10月14日～10月16日（3日間）
 場所：羽田空港第1ターミナル（東京都）
 概要：十勝の旬の産品の販売（18事業者80商品）、
 振興局のゆるキャラ等で地域のPRを実施



とちかちフェアin東京

開催日：令和4年12月14日～12月18日（5日間）
 場所：どさんこプラザ有楽町店（東京都）
 概要：ワインと合わせる十勝の味覚をテーマに
 チーズ、加工肉等を販売（6事業者16商品）



■ 輸出の気運醸成に向けたセミナーの開催 [関係機関、民間、振興局]

十勝の食品・農林水産物輸出拡大ステップアップセミナー

開催日：令和5年1月23日
 場所：十勝総合振興局 3階講堂
 概要：「十勝における農畜産物輸出の可能性」をテーマに、輸出の専門家を講師に迎え、輸出の傾向や今後の輸出トレンドのほか、輸出手続き等の具体的な実務など、実践的な内容を学ぶセミナーを開催（参加人数：44名）



■ 食産業を盛り上げるキーパーソンを育成するセミナーの開催 [関係機関、生産者、振興局]

とちかちフード塾2023

開催日：令和4年1月31日
 場所：とちかちプラザ（帯広市）
 概要：事業者や関係団体等を対象に、地域フード塾修了生による受講報告のほか、地域フード塾講師による商品価値の磨き上げをテーマとした講演を実施（参加人数：50名）



主な評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）	進捗率
どさんこプラザでのテスト販売実施件数	62件 (H26～H30の最高件数)	39件 (R4)	62件 (R3～R7) ※毎年度目標値以上	62.9%
国際水準GAPの認証農場数	31農場 (R2)	39農場 (R4)	47農場 (R7)	83.0%

R5年度の主な取組

- 十勝和牛や牛乳・チーズなどの乳製品の消費拡大の取組の実施 [振興局]
- 十勝産ワインとペアリングメニューによる、ワイナリーを食とともに巡るモデルルートの構築 [支援機関、振興局]
- バイヤーや料理人など食の専門家による商品の磨き上げに係る相談会の開催 [民間、振興局]

十勝の魅力を活かした滞在型・周遊型観光推進プロジェクト

【推進エリア】十勝連携地域

目的

十勝が有する雄大な自然環境、豊富な食、多様な文化などの魅力に加え、道内各方面に移動しやすい地域特性を活かした誘客に取り組み、ポストコロナ時代に対応した観光施策を推進していく。

これまでの主な取組・成果

■ 持続可能な観光スタイルの推進に向けたモニターツアー等の実施 [振興局]

実施日：令和4年8月18日～20日(モニターツアー)、10月23日(オンラインツアー)

概要：日高山脈襟裳国定公園の国立公園化やトカプチ400の指定を契機に、十勝の自然環境やゼロカーボン先進地としての特色を活かし、自然環境等の持続可能な観光スタイルの推進に向けたモニターツアー・オンラインツアーを実施



■ 道外における食と観光の一体的なプロモーションの実施 [振興局]

十勝・日高フェアin大阪

開催日：令和5年2月22日～令和5年2月28日(7日間)

場所：北海道どさんこプラザあべのハルカス店(大阪府)

概要：日高山脈襟裳国定公園の国立公園化を見据え、十勝・日高振興局合同で、両地域の食品・加工品などの商品の販売(27事業者50商品)や、両地域の特色である馬を共通項にサラブレッド・ばん馬の実物大パネルの比較展示等、プロモーションを実施



■ 域外観光客を対象とした電子交通チケットの実証事業 [十勝地域公共交通活性化協議会]

時期：令和4年12月～令和5年3月

概要：十勝管内の路線バスが乗り放題となる「ビジットトカチパス」や、観光施設等の利用料金がセットになった新たな交通旅行商品を、インターネットによる電子チケットの販売・発行サービス「トカチケ」で販売する実証事業を実施



主な評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
管内への観光入込客数	1,033万人(H30)	711万人(R3)	1,115万人(R7)	R3:63.8%
管内への宿泊延べ数	122万人(R2)	140万人(R3)	192万人(R7)	R3:72.9%

R5年度の主な取組

■ 滞在型観光の一つであるアドベンチャートラベルの専門家を招いたFAMトリップ(モニターツアー)の実施 [振興局]

■ 観光客や移住希望者向けの新たな交通旅行商品の造成及び情報発信 [十勝地域公共交通活性化協議会] [振興局]

■ 日高山脈襟裳国定公園の国立公園化を契機とする十勝・日高が連携したプロモーションの実施 [振興局]

未来につなげる環境・先進分野十勝プロジェクト

【推進エリア】十勝連携地域

目的

恵まれた自然環境の保全・適正利用を進めるとともに、道内有数の賦存量を誇るバイオマス資源などを活かした再生可能エネルギー等の利活用による地域の脱炭素化、宇宙ビジネスの展開やICTを取り入れたスマート農業による農業・農村の活性化など、十勝ならではの先駆的取組を進めていくことで、活力ある未来につながる地域づくりを進めていく。

これまでの主な取組・成果

■ 日高山脈襟裳国定公園の国立公園化に向けた魅力発信フォーラムの実施【振興局（十勝、日高）】

開催日時：令和4年11月27日

場所：浦河町総合文化会館

概要：第一部は吉田 類氏を招聘し「日高・十勝地域の山歩きと街歩きの魅力」をテーマに基調講演を、第二部は「日高山脈襟裳国定公園の観光資源の可能性」をテーマにパネルディスカッションを実施



■ ゼロカーボン北海道推進に向けた次世代自動車研究会の取組【振興局】

十勝次世代自動車研究会

概要：管内の自動車販売会社、電気事業者等で構成し、電気自動車をはじめとした次世代自動車の普及に向けた調査やイベント等を企画・実施

若者向けEV普及啓発動画の制作

地域PRなどを含めながら運転や災害時の活用法などを紹介する普及啓発動画を制作・公開
※YouTube等で公開中



■ 十勝における宇宙産業の認知度向上へ向けたイベントの実施【民間、振興局】

とかち宇宙フェア

開催日：令和4年11月12日

場所：藤丸7階催事場

概要：十勝での宇宙開発の第一線で活躍している専門家等を招き、トークイベントや子供向けの宇宙産業に関するクイズ、ロケットの模型展示などを実施



主な評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
ゼロカーボンシティ表明市町村数	1件 (R2)	11件 (R4)	19件 (R7)	57.9%
新エネルギーの導入状況 (発電分野の設備容量)	282,429kW (R2)	324,728kW (R4)	445,672kW (R7)	72.9%
先進技術関連事業所立地数	14件 (R2)	14件 (R4)	18件 (R7)	77.8%

R5年度の主な取組

■ バイオマス発電で発生する消化液の有効活用・普及促進に向けた実証事業等を実施【関係機関、振興局】

■ カーボンニュートラルなど企業経営者に向けた脱炭素経営セミナーの開催【振興局】

■ 学生等を主体とした新規宇宙事業開発をテーマにしたアイデアソンの開催【振興局】

十勝の未来を担う人づくり・地域づくりプロジェクト

【推進エリア】十勝連携地域

目的

人口減少が進展する中、新型コロナウイルス感染症の影響下においても、将来にわたって地域を担う人材の確保・育成に向けた取組を進めるとともに、安心して心豊かに住み続けたい地域づくりや新たな人の流れを作る交流促進に取り組む。

これまでの主な取組・成果

■ 多様な人材が一次産業に関心を持ってもらうための体験ツアー、出前授業の開催 [市町、振興局]

とちかち林業・木材産業魅力体感ツアー

開催日：令和4年11月19日

場 所：十勝管内の苗場、伐採現場、製材工場

概 要：林業・木材産業に興味のある方、就業を希望する方を対象にツアーを実施



普通科高校の生徒を対象とした出前授業

開催日：令和4年10月～令和4年12月（全3回）

対象校：音更高校生徒

概 要：普通科高校の生徒を対象に出前事業や農場見学を実施



■ 地域を担う人材確保に向けた地元企業と連携した就活イベントの実施 [民間、振興局]

高校生と地元企業の交流会

開催日：令和4年6月28日

場 所：ホテル日航ノースランド

概 要：高校3年生を対象に、就職活動前に企業及び職業に対する理解を深める機会として交流会を実施

新規高卒者を対象とした面接会

開催日：令和4年11月10日

場 所：ホテル日航ノースランド

概 要：新規高校卒業予定者と地元企業とのマッチング面接会を実施



■ 移住・関係人口拡大のための移住者交流会の開催や移住交流フェアの実施 [民間、振興局]

子育て世帯対象の移住者交流会

開催日：令和4年9月11日

場 所：めむろ新嵐山スカイパーク 新嵐山荘

概 要：移住した子育て世帯を対象に移住者同士のネットワークづくりを実施



北海道移住交流フェア2022in大阪

開催日：令和4年10月15日

場 所：大阪OMMビル

概 要：管内への移住希望者への個別相談対応やステージでの地域PRを実施



主な評価指標 (KPI)

主な評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
新規学卒者の管内就職率 (管内の高等学校)	86.09% (H28～R2の最高値)	82.0% (R4)	86.09% (R3～R7) ※毎年度目標値以上	R4 : 95.2%
「できれば今と同じ市町村に住んでいたい」と考える人の割合	78.6% (H28～R2の平均値)	64.3% (R3)	78.6% (R3～R7) ※毎年度目標値以上	R3 : 81.8%

R5年度の主な取組

- 農業を職業の一つと認識してもらうための普通科高校生徒を対象とした出前授業等の実施 [振興局]
- 若年者の職場定着に向け「働き方改革・人手不足対策」等をテーマとした企業向けセミナーの開催 [民間、振興局]
- 十勝管内地域おこし協力隊のネットワークと連携した起業・定住の推進 [振興局]

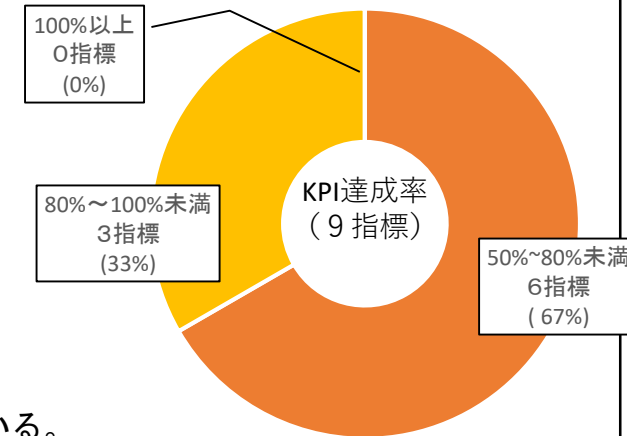
評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
とちかち「食の拠点」 確立プロジェクト	どさんこプラザでのテスト販売件数	62件 (H26～H30の 最高件数)	31件	39件				62件/年 (R3～R7) ※毎年度目 標値以上	62.9%
	国際水準GAPの認証農場数	31農場 (R2)	38農場	39農場				47農場 (R7)	83.0%
十勝の魅力を活かした 滞在型・周遊観光 推進プロジェクト	管内への観光入込客数	1,033万人 (H30)	711万人	集計中				1,115万人 (R7)	R3:63.8%
	管内への宿泊延べ数	122万人 (R2)	140万人	集計中				192万人 (R7)	R3:72.9%
未来につなげる環 境・先進分野十勝プ ロジェクト	ゼロカーボンシティ表明市町村数	1件 (R2)	7件	11件				19件 (R7)	57.9%
	新エネルギーの導入状況（発電分野 の設備容量）	282,429kW (R2)	298,435kW	324,728kW				445,672kW (R7)	72.9%
	先進技術関連事業所立地数	14件 (R2)	14件	14件				18件 (R7)	77.8%
十勝の未来を担う人 づくり・地域づくり プロジェクト	新規学卒者の管内就職率（管内の高 等学校）	86.09% (H28～R2 の最高値)	84.06%	82.0%				86.09% /年 (R3～R7) ※毎年度目 標値以上	95.2%
	「できれば今と同じ市町村に住んで いたい」と考える人の割合	78.6% (H28～R2 の平均値)	64.3%	集計中				78.6% /年 (R3～R7) ※毎年度目 標値以上	R3:81.8%

評価指標（KPI）一覧

分析・対応方向

- 9の評価指標のうち、4つの指標で令和3年度から目標値に向け進捗した。
- どさんこプラザでのテスト販売件数については、新型コロナウイルス感染症の影響により平成30年度以前と比べると減少しているが経済活動も正常化しつつあり、販売件数も増加してきている。
- 国際水準GAPの認証農場数については、令和4年度に1農場が新たに認証され、39農場となった。
- ゼロカーボンシティ表明市町村数については、令和4年度に新たに4市町村が表明して計11件となった。
- 新エネルギーの導入状況については、昨年に比べ伸び率が大きくなるなど、順調に増加している。
- R5年度においては、以下の取組で進捗率の向上を目指す。
 - とちち「食の拠点」確立プロジェクト
⇒十勝和牛や牛乳・チーズなどの乳製品の消費拡大の取組や、食の専門家による相談会の開催などにより商品の磨き上げや十勝の「食」の付加価値向上を図る。
 - 十勝の魅力を活かした滞在型・周遊型観光推進プロジェクト
⇒滞在型観光の一つであるアドベンチャートラベルの専門家を招いたFAMトリップ、観光客向けの新たな交通旅行商品の造成や情報発信を実施することにより、観光客の増加を目指す。
 - 未来につなげる環境・先進分野十勝プロジェクト
⇒バイオマス発電で発生する消化液の有効活用・普及促進に向けた実証事業等により「ゼロカーボン北海道」の実現に向けた取組を進めていく。
 - 十勝の未来を担う人づくり・地域づくりプロジェクト
⇒高校生を対象とした農林水産業の出前授業や現地視察などにより管内における就職率の向上を図る。



R 5 年度における十勝総合振興局の主な取組（地域政策推進事業）

事業名	概 要	主な関連 プロジェクト (※)
十勝ゼロカーボン推進事業	「ゼロカーボン北海道」の実現に向けて、再生可能エネルギーの活用についての普及啓発や、先端技術の導入などにより農業のイノベーションを加速化させる取組を進める。	①③④
とちかち「ゼロカーボン」ネットワーク連携・普及促進事業	「ゼロカーボン北海道」の実現に向け、環境の保全・適性利用や豊富な地域資源による再生可能エネルギーの活用について地域の住民や企業等に対し普及啓発を図るとともに、自発的な行動変容を促す。	③
「ゼロカーボン北海道」に資するための省エネ・再生可能エネルギー促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素社会の実現に係る意識の転換や行動変容に向けた普及啓発を図るため、小学生親子向けのミニセミナーや燃料電池車の工作教室を開催する。 ・「次世代自動車研究会」を活用し、啓発活動やEV導入支援及び各種データ分析・公表による気運醸成を行う。 	③
十勝農業イノベーション加速化事業	人口減少に伴う労働力問題の顕在化と合わせて気候変動に伴う災害の頻発やコロナ禍など農業を取り巻く環境が大きく変化する中で、先端技術の導入や多様な担い手の確保、十勝ブランドの強化、環境負荷軽減の取組を通じて農業のイノベーションを加速化させ、環境と調和した生産性と持続性が両立した農業の確立を目指す。	①
オール十勝・森と木のゼロカーボン普及啓発事業	豊富な森林資源や木育活動の輪を活かし、森林の育成や木質バイオマス等の利用を通じたゼロカーボンの普及啓発を推進する。	③④
とちかち“いいね”魅力拡大事業	旅先としての十勝の認知度向上及び誘客促進を図るため、SNS等を活用した情報発信やプロモーション、魅力的な観光地づくりに向けた取組を推進する。また、十勝の「食」の付加価値向上、ブランド化の取組、十勝製品のPR・販路拡大を併せて進める中で十勝の認知度及び誘客推進の更なる向上を図る。	①②
宇宙産業理解促進事業	大樹町で進められている宇宙分野の取組について、より広く管内の企業の理解を深め関わりを拡げていくことにより、関連産業の集積や移住・交流人口の拡大など、次世代の先進的な産業による地域づくりを進める。	③

R 5 年度における十勝総合振興局の主な取組（地域政策推進事業）

事業名	概 要	主な関連 プロジェクト(※)
農業分野における人材確保対策事業	労働力不足が課題となっている農業分野の労働力・担い手を確保するため、幅広い人材を農業に誘導し、労働力の確保を図る。	④
十勝地域輸出拡大促進事業	十勝管内の主要産業である農畜産物の更なる販路拡大を図るため、輸出促進に係る取組を実施する。	①
ポストコロナに向けた農畜産物需要回復事業	ポストコロナ過での十勝管内の農畜産物の需要の変化を見据え、牛乳・乳製品、牛肉の消費拡大事業の取組を進める。	①
未来人材地域づくり事業	十勝管内の人口減少問題に対し、学生・子どもの地元定着や移住・定住・関係人口の増加など、人口の流出・流入の両面から取組を推進する。	④
とかちの漁師エナジープロジェクト推進事業 (若手漁師の意識醸成PJ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漁業後継者の育成や定着のため、次世代を担う青年漁業者をターゲットに、意識醸成を図るとともに、漁業の魅力伝えて担い手確保を図る。 ・ 令和3年9月に発生した有害赤潮による漁業者の不安を払拭するため、水産技術普及指導所によりプランクトン発生状況の調査や情報共有等を図る。 	④
耕地防風林造成技術推進事業	十勝地域における防風林（幹線防風林・耕地防風林）について、地域の林業・農業関係者が連携し、農家への意識調査や対応策の検討を行うとともに、防風林の効果等の理解促進を図るための勉強会の開催や耕地防風林の造成指導を実施することにより、地域の防風林の維持（更新・再造成）を図る。	①
交通モードの利活用により地域の内外をつなぐ 交流人口拡大推進事業	十勝管内の公共交通の利用状況を把握した上で、人の動きを促す取組を主体とし、域内間の交流増加（まちづくり）、域外との交流増加（観光振興、移住定住）に向けた取組を実施することにより、関係・交流人口の増加と十勝地域の活性化を目指す。	②

※十勝連携地域が推進するプロジェクト

① とかち「食の拠点」確立プロジェクト	② 十勝の魅力を活かした滞在型・周遊観光推進プロジェクト
③ 未来につなげる環境・先進分野十勝プロジェクト	④ 十勝の未来を担う人づくり・地域づくりプロジェクト